

畜舎の火災事故を防ぎましょう

梅雨に入り湿気の多い時期になりました。夏場にも火災事故は発生します。大切な家畜と畜舎を守るため、点検を行い予防に努めましょう。

1. 動物用蚊取り線香などの火元に注意

- 火の周囲に乾草、飼料袋、木材等の燃えやすいものを置かない。

2. 電気設備と配線について点検

(1) 漏電とショートの防止

絶縁が傷ついたり、ホコリが湿気を帯びることによって漏電やショートを起こし、感電や火災の原因になりますので点検しましょう。

- 電気設備と配線に雨や結露などの湿気はありませんか。
- 扉などに挟まれたり、ネズミや害虫にかじられたり、経年劣化による配線の露出はありませんか。
- コンセントやプラグ、機器のスイッチ周囲にホコリは溜まっていませんか。
電気保安協会等の定期点検を受けて漏電の有無を確認しましょう。

(2) 過熱の防止

電気の使用容量をオーバーしたりコンセント、機器のスイッチの接触が悪くなると過熱による発火の原因となりますので、点検しましょう。

- タコ足配線による容量オーバーはありませんか。
- プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。老朽化してませんか。
- 開閉器には適正なヒューズが使用されていますか

3. 畜舎の火災の発生を想定した準備をしましょう

- 消火器などを設置しましょう。
- 消火訓練に取り組みましょう。
- 家畜の避難方法や避難場所を検討しましょう。

